

# もりや仙一郎便り

県政報告 Vol.49

「売るぞ！天童のさくらんぼ」



▲長蛇の列ができた秋葉原駅でのPR

6月12日、13日の2日間、東京で天童市のさくらんぼをPRするトップセールスが行われました。ぼは着果量も良く生育も順調で、今年も安心な天童のさくらんぼを売って下さい」と力強くPRしました。

初日の淀橋市場は日頃より天童市農協との取引



▲活況の天童ブース (淀橋市場)

天童市×上山市 きてけろ！やまがたのさくらんぼ祭り

## 県内初 合同キャラバン



▲多賀城市の園児にさくらんぼをプレゼント



▲多賀城市役所を訪問

天童・上山市の観光果樹園協議会がタッグを組み、合同でお互いの姉妹、友好都市の宮城県多賀城市、名取市でさくらんぼ祭りの誘客PRを行う『きてけろ！やまがたのさくらんぼ祭り』キャラバンが6月3日に決行されました。2つの市が共同でさくらんぼ祭りの誘客キャラバンを行うのは県内初です。

最初に訪問したのは多賀城市。同市内の保育園を訪れ、子どもたちにさくらんぼをプレゼントしました。紅く実ったさくらんぼの実に子どもたちも興奮した様子。「キレイ！美味しい！」と、喜んでいただきました。家族で山形に遊びに来て、果樹園で使える無料招待券もプレゼント。これは子どもたちに一度さくらんぼ祭りを体験して欲しいと企画されました。

その後、名取市に移動し、同市のイオンモールで「さくらんぼちゃん」今回の事業で特筆すべき事は、天童市、上山市が一体となり「山形のさくらんぼ」をPRしたことです。このような動きは、県全体に広がっていく必要があります。議会などでの活動をしっかりと報告し、県が一体となった新しいさくらんぼPRの仕方を模索していく所存です。

### 山本天童市長のトップセールスに同行

## 観光大使に任命

天童市出身 佐藤正宏さん (ワハハ本舗)



天童市が東市で行ったトッセルに先立ち、新設された天童市観光大使の任命式が都内のホテルで行われました。第一号となる任命者は天童市出身で、テレビなどで活躍する劇団ワハハ本舗の佐藤正宏さん。山本市長が委嘱状を交付すると、佐藤さんは「ふるさと天童を全国へPRします」と力強く宣言しました。

翌日、秋葉原駅構内で行われたPR活動に早速参加して頂きました。やはり、プロの芸人さんです。

天童市を自慢していました。これからのPR活動に期待しています。私と佐藤さんは天童市立第二中学校の同級生であり、生でありまして、



要望活動が実を結び、大変、嬉しく思っております。

ことし2月、国道48号線が発生した雪崩が約10日間続いたことを受け、以前、国土交通省に対して災害対策を実施してもらった。天童市・東根市・仙台市で要望活動を行っていました。そしてこのたび、年度内に雪をガードする柵が設置されることになりました。予算は13億6000万円。

国道48号線  
年度内に雪崩対策  
国へ要望届く



▲イオンモール内でのさくらんぼプレゼントキャンペーン

## 農作業中の事故 高齢者に多発 「注意喚起だけではダメ」

ことしの春先、県内で農作業事故が多く発生しました。車庫内でのトラクター事故、高所作業車の移動時に起きた事故など、市内の事故件数は天童市消防署を経由した件数で9件。年代別にみますと50代1名、60代1名、80代1名であります。驚いたことは70代が6名ということです。農業従事者の高齢化はどの業種でも問題になっていますが、この数値からみても高齢の方がまだ無理をして農作業をしているのがわかります。又、残念なことに1名の方がお亡くなりになっております。私もよく知っている方で集落の中心的存在でありました。誠に残念です。

ここで問題になるのはどのような対策をとっているかです。山形県、天童市にうかがってみると、注意喚起を促すチラシを配布したとのことです。確かに気を付けるように呼びかけるのは必要ですが基本的な安全策のルール作りが必要です。特に山形県を代表するさくらんぼハウスからの転落事故が大半を占めております。是非、事故の検証を行い、安全なハウス構築のあり方を協議する必要があります。私も農林水産常任委員会において議論をいたします。

# もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログでこうして欲しい! ココが問題! 改善して欲しい...など 頂けると幸いです。

☎023-651-5539 FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3丁目 4-17

もりや仙一郎

検索

ホームページ <http://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。 QRコードでアクセス

